

バラバラにされればわたしたちは倒れる。団結すればわたしたちは立つ。

<p>〈これからの予定〉</p> <p>○11月10日(水) 「支部三役会議」 14:00~16:00 名古屋都市センター</p> <p>○12月8日(水) 「第16会定期大会」 13:00~17:00 名古屋都市センター</p>	<p>愛知県職連合女性部しんぶん</p> <h1>あゆむ</h1> 	<p>第340号 (2021年10月)</p> <p>発行 県職連合女性部</p> <p>〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1 直通 052(951)4036 FAX 052(972)0649 FAXフリ-アケス 0120(930)340</p> <p>http://www.aichikenshoku.gr.jp E-mail josei21@aichikenshoku.gr.jp</p> <p>発行責任者 山崎真弓</p>
---	---	--

今年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対応のため私達自治体職員の果たす役割が重要であり、各職場では、通常業務に加え関連の新たな業務対応を行ってきました。慢性的な業務過多に追い打ちをかける形で、さらなる長時間勤務が生じています。

自治体職員として県民ニーズを把握し丁寧に対応するためには、職員が生き生きと働くことができる職場であることが必要ではないでしょうか。

女性部は、「誰もが働きやすい職場環境」をめざし、働き方の多様性や意識の変革に焦点を当て、様々な問題について意見を取り上げていきます。

2021女性の要求

「誰もが働きやすい職場環境づくり」
「働き方の多様性」と「意識の変革」をめざす



分会女性集会まとめ

- 分会女性集会開催
60分会 557人
- 要望・意見提出
116職場

分会からの 主要な要望や意見

- ジェンダーによる
不平等
1. LGBT等
 - トイレや更衣室への配慮
多目的トイレや更衣室などを設置するなどの配慮が必要ではないかとの意見があった。
 2. 障害
 - 障害への配慮
仕事量や時間外勤務の配慮が必要との意見があった。
 3. 上下関係
 - 上司から部下への対応
若手職員が職場内での意見が言いづらい、上司が部下を呼ぶときに呼び捨てなど、一般常識的な他者への配慮についての意見があった。
 5. 性別
 - 性別に対する意識の変革
「女性だから〇〇で、男性だから▲▲である」という

②マイノリティの 考え方への配慮

パートナーの性別や結婚の希望など、性的マイノリティが身近に存在するといふ意識を持つて過ごすことが必要である。

4. 生活環境

①育児や介護以外の
制度の充実

特に育児に関する制度は前進しているが、一方で育児や介護中の職員を支える職員へのメリットがうすいため、福利厚生などの制度設計を求める声があった。

②勤務時間は、基本「定時」という意識

女性は家庭での仕事を多く抱えているのが現状である。家庭や育児、その他の様々な事情を抱えた人がいるため、「定時」を意識した仕事の仕方が必要である。女性の社会進出を進める上では、時間に対する「コスト意識が必要である。

先入観や、昔からの古い慣習（お茶出しなど）が世代を超えて引き継がれている。特に年配男性の意識の変革が必要である。

②家庭の仕事への理解

家庭では未だ女性の負担が大きい。職場において女性が男性と対等に活躍するためには、依然として「家庭の仕事は女性の仕事」という考えがあることを意識し行動することが必要である。そのための男性側への問題提起・普及啓発が必要である。また「お互い様」という双方の気遣いによるところも大きい。

③区別と差別の使い分け
性別による力や体力の差・ホルモンの影響など、業務によっては女性には困難な業務も存在する。本人の希望も聞きながら、区別と差別を使い分けることが必要である。

④男性の育児への参画

男性が主体的に育児に関わることで、女性の社会進出が進む。

職場での困りごと

1. 権利

(1) 育児・介護

①休暇の取得拡大

育短・部分休業を小学校卒業までに拡大、子の看護休暇を中学生までに拡大し、且つ子の人数分付与など、育児に係る休暇の長さや日数を拡大してほしいとの意見が多数あった。

②通勤緩和

通勤時間1時間以内等を求める意見が多数あった。

③次世代育成支援の充実

育休中の悩み相談や、休業の昇任昇格への影響などを明文化し、働き方の選択をできるようにとの意見があった。

④介護に関する制度の充実

育児に関する制度の前進は図られているが、介護に関する制度設計が不十分である。日数や期間ともに利用しやすい制度になるようにとの意見があった。

⑤本庁勤務の実現

現状、育児・介護中では体制上、本庁勤務が困難であるとの意見があった。

(2) 生理休暇

①実効性のある

制度への改正



現在の名称では男性上司に申請しにくく、また周りや男性上司の理解が必要との意見があった。さらに更年期障害や不妊治療等、幅広く利用できるように対象範囲の拡大や時間単位での取得も可能な制度への改正を求める意見が多数あった。

(3) 不妊治療

①利用しやすい

療養休暇での取得・時間単位での取得・長期間の取得など、必要とする人が取得でき、仕事を継続できるような制度設計や運用を求める意見があった。また、不妊治療の議論については女性部での継続課題にしてほしいとの意見もあった。

②家族休暇の利用拡大

個人の事情で取得できるようにメニューの幅を拡大してほしいとの意見があった。

③利用しやすい環境整備

年休や特別休暇を取得する際、少ない人数でのシフト制など休みが取りにくい環境や、職場の雰囲気として休みにくい環境を改善してほしいとの意見もあった。

④制度新設

「障害のある胎児への休暇」「妊婦の付き添い休暇」「離婚休暇」等の新設を求める意見があった。また、本当に休暇が必要な人が必要な時に取得できるような制度新設や環境整備を求める声もあった。

(4) その他の休暇

①夏季休暇の取得拡大

期間の延長や時間単位で取得できるようにとの意見が多数あった。

②家族休暇の利用拡大

個人の事情で取得できるようにメニューの幅を拡大してほしいとの意見があった。

③利用しやすい環境整備

年休や特別休暇を取得する際、少ない人数でのシフト制など休みが取りにくい環境や、職場の雰囲気として休みにくい環境を改善してほしいとの意見もあった。

②相談窓口の設置

女性専用の相談窓口を設置してほしいとの意見があった。

制度設計・運用



③ ハラスメントのない

職場環境整備と

発生時の対応

そもそもハラスメントが起これない職場環境にしてほしいという意見や、ハラスメント被害を相談した際に、心ない言葉をかけられるなどの二次被害についての意見があった。

(7) 昇任昇格

① 適正な評価

絶対評価と言いつつ評価は割合が決まっており、まだまだ女性には男性に比べ遅れている。

(8) 職場環境

① 職場の雰囲気

職場の雰囲気を良くするため、気軽に話せるデスクの配置やLINE利用時のマナーのルール化などの意見があった。

2. 人員・時間外

(1) コロナ

圧倒的な人員不足、応援の非常勤職員の待遇改善、

夏期休暇・結婚休暇の取得期間延長などの意見が多数あった。

(2) 時間外勤務



① 業務の見直し・効率化・平準化

自動化可能な業務は自動化し、課員の業務の隔たりをなくすべきだという意見が多数あった。

② 時間外勤務縮減・申請

についてのルール

時間外勤務が恒常的になっっている職場では、事前申請を徹底してほしいとの意見がある一方で、結果的に時間外になってしまった場合に事後申請も認めてほしいとの意見があった。

(3) 人員配置

① 確実な人員配置

絶対的な人員不足により余裕がないとの意見が多数あり。この状況では突発業務への対応や長期休暇・休職者が出ると、課員に対して非常に負担がかかるとの意見があった。さらに正規職員での配置をしてほしいとの意見が多数あった。

務への対応や長期休暇・休職者が出ると、課員に対して非常に負担がかかるとの意見があった。さらに正規職員での配置をしてほしいとの意見が多数あった。

② 適材適所の人員配置

能力の差や産休育休中の有無などを考慮した人員配置をしてほしいとの意見が多数あった。

③ 長期休暇・休職者の代替職員の確実な配置

産休育休などの休職や療養休暇であっても1ヶ月以上休みが続く場合は、代替職員を正規職員で配置してほしいとの意見が多数あった。

3. 賃金・予算

(1) 賃金



時間外手当が100%支給されない、育休中の家賃補助、通勤手当の合理的な経路認定等を求める意見があった。

った。

(2) 冷暖房予算

冷暖房の弾力的な運転や、予算の確保、冷暖房機器の修繕などの意見が多くあった。

(3) その他の予算

- ① トイレや更衣室・仮眠室の設置・修繕
- ② 託児所・病児保育の設置
- ③ スマホ・PCの配備
- ④ システム（アイシステムや採用システム等）等の改修
- ⑤ 各種検診等への補助金等

4. その他

育児や介護中の職員のフォロワー体制、女性部の負担軽減など、組合活動への意見があった。

◎ご意見・要望、ありがとうございました。

うございました。

「生理休暇」に関する他県の取り組み

生理休暇については「男性の理解」「利用しやすい制度設計」「名称変更」などの意見・要望が多く見られたため、2021総合要求に女性部補強意見として提出しました。他県の名称や取得要件等の取り扱いは下記のようになっています。

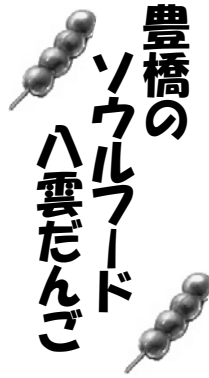
- 岡山県：【健康支援休暇】女性組合員に關係する「通院休暇」「通勤緩和休暇」「妊娠障害休暇」の4つの特別休暇を統合して「健康支援休暇」とした。申請は「健康支援休暇①」と数字表記にするなど申請者・管理者双方に配慮がある。
- 宮城県：【健康管理休暇】PMS（月経前症候群）を理由としても取得が可能である。
- 岐阜県：【女性健康休暇】という名称がついている。

<他県職労組からの情報提供>



八雲だんご直売所
(みたらしだんごが目印)

みなさん「八雲だんご」をご存知ですか？八雲だんごは株式会社丸八製菓が豊橋市にてお団子の製造を営んでいます。なかでもみたらし団子は販売本数日本一を誇る商品で出店や屋台でも多く販売されており、豊橋市のソウルフードと言っても過言ではありません。



おもちゃが当たる「宝つり 100円/回」

私も息子も、甥っ子も姪っ子も我が家はみんな大好きです。

この八雲だんごは直売所があり、焼きたてのみたらし団子や直売所では販売していない商品（今だと期間限定でわらび餅ラテ）等を販売しています。最近だとチョココメント（チョコがコーティングされている団子）も人気です。また、1000円以上の購入で粗品（私が先日行った際はわらび餅を頂きました。）がもらえたり、お子さんが喜ぶ宝つりが参加できたりします。

豊橋市に遊びに来た際はぜひご家族、友人等で行っ

Instagram & HP



てみてください♪（興味がある方はぜひ公式ホームページやInstagramをご覧ください。）

（東三河県税事務所

藤田 翔子）



科学実験を あうちで 楽しもう！

外出自粛が続き、家で何か楽しめることはないかとお困りの方！自宅で科学実験なんていかがでしょうか。夏休みが始まる頃、簡単に自由研究ができるキットが本屋などに並びます。凍る魔法の水、つかめる水玉、



①

レモン電池、万華鏡作りなどあって楽しそうです。通販では一年中購入できます。ネットで検索すれば、さらに多くの実験を見つけることができます。図や写真が多く、動画もあり、分かりやすくお勧めです。先日は、「尿素で結晶作り」にチャレンジしました。尿素と少量の洗濯のりをお湯で溶かし、ろ紙に吸い上げさせ、結晶ができるのを待ちます。ろ紙を水性ペンで塗れば、結晶に色をつけることができます。何色かの蛍光ペンを使用し、きれいなグラデーションカラ



②

ーの結晶を作ることができました。複数の色を使うときは、色の数を増やしすぎないこと、混じり合っても大丈夫な色を隣にすることがポイントです。自宅で行う実験は、子供はもちろん、大人でも楽しめると思いますよ。ぜひやってみてください。

- ① 結晶ができる台をろ紙で作ります。
- ② カラーでなくて残念！美しい樹氷のような結晶ができました。



（がんセンター研究所
後藤 嘉子）